

FPUAA No.34

福岡県立保母養成所
福岡県社会保育短期大学
福岡県立大学

福岡県立保健婦養成所
福岡県立公衆衛生看護学校
福岡県立看護専門学校

現在会員数14,200名

Fukuoka Prefectural University Alumni Association



令和4年(2022)3月17日に280名の卒業生が同窓会の仲間に入りました

四役挨拶



会長 野口 久美子
(福岡県立看護専門学校
保健婦助産婦科2期)

最近思う事

朝夕はすっかり秋の気配になりました。虫の声を聴きながら朝一番にコーヒーの香りを楽しみながら、そろそろ目を覚ます三人の孫たちに、朝食を作る朝5時の毎日です。秋はおいしい食材にあふれ、調理するのが楽しくなります。どんな顔をして「おいしい、おいしい」と言って、食べてくれるのか？わくわくしながら炊事場に立つ今日この頃です。

コロナの第7波は、高止まり状態で、やっと4回目の予防接種が終わったかと思うと、オミクロン対応のワクチンが開発され、第5回目6回目の予防接種がアナウンスされています。一体いつまで予防接種をしなくてはならないのか？・・・気が遠くなりそうです。そろそろインフルエンザの予防接種も始まります。接種後の副反応も少々心配ですが・・・

足掛け3年に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大によって、リモートワークで規則正しい通勤・通学が失われて規則正しい食生活が乱れ、様々な健康障害を引き起こします。その一つとして、現在人の不眠が挙げられます。健康診断の問診のなかでも不眠の訴えを多く聞きます。眠れずに時計の音ばかり響き、じっと夜が開けるのを待つ辛さは、不安に駆られ、眠ろう眠ろうとすればするほど、目がさえてしまいます。最近、私も図々しくなり、眠れないことを逆手にとって、自分のしたいことを自由にするようにしています。音を立てずにゴソゴソと・・・朝は腫れぼったい目をこすりこすりボーっとすることもしばしばです。年のせいかな？とあきらめつつ、いやいや今からが青春と粋がって、から元気を出しています。

そんな中、同窓会活動もなかなか進みません。保健師教育の大学院化も、遅々として現状維持のままで。皆さんの顔をみる機会もなく、あらゆる行事が中止や延期になり、新たな戦略もなく、ただただ時間のみが過ぎていく苛立ちが募るばかりです。また、新たな枠組みで、コロナとともに保健師教育の在り方を考えていこうと思います。ネットワークの輪を広げていきたいと考えていますが・・・ぜひ同窓会事務局にいろんな意見をお寄せください。お待ちしております。四役会では、皆様から寄せられた意見を大切に協議し、その結果をお返しできるように事務局と頑張っていますので、ぜひご協力お願いします。

私が働いている福岡労働衛生研究所でも、看護大学の総合実習として、学生実習を引き受けていますが、真面目で優秀な学生さん達が、時間に追われ必死に学んでいる姿をみると、もっと公衆衛生を学び、もっと時間をかけて学習できる場を保障してあげたいなあと思います。キラキラと輝いている学生の希望がかなえられますように・・・
次は、総会でお会いしたいですね。



副会長 杉本 眞佐子
(福岡県立保母養成所 15期)

五十年ひと昔

同窓会会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。彼岸花が畦道の緑に映える季節となりましたね。

夏の異常な暑さにも負けず、黄金色に輝く田が広がりました。お米あまりとは言っても豊作の稲穂の景色は心を和ませます。農耕民族ならではの脈絡が心身の安定を呼び起こすようです。

今年の「中秋の名月」は珍しく満月が巡ってきて、薄雲の流れの間に間に、光さす姿はさすが名月でした。

厳しい残暑に、緊張するコロナ対策の日々に、日本ならではの四季の移ろいを楽しむ余裕を忘れそうでしたが、季節を愛でる心を引き戻してくれた「月光」でした。

ある新聞に尾木直樹先生の話の記事が掲載されました。先生は、よく失敗する子だったそうですが、母親から「大丈夫、大丈夫、大器晩成型だから」と言われて育ち、20歳を過ぎた頃でも母の言葉に『そのうちに成功するのかなと期待をつないで生きてきた』と書かれています。

著作は200冊以上もある教育評論家。62歳になって、「尾木ママ」の愛称で大ブレイクし、『人生が2.3倍広く、長くなった感じ』と話されています。テレビに出演された先生を見たときは「え、、あの尾木先生？尾木ママ？」とその「命名」に、驚きと親しみの拍手でした。

先生のお話の記事には、お母様との日常のやりとりの中で心や体に刷りこまれた「言葉の力」の柔らかさが、伝わってきました。十年ひと昔と言われますが、こうなると五十年ひと昔です。

先生は私達と同年代。「団塊の世代」と呼ばれ、経済活性化の一翼を担い、皆さんに愛され続けている年の頃です。人生百年時代、大器晩成が少々遅れても、全く来なくても、ひと昔を語り「もう少し生きてみよう」と思いませんか。

玄関に段ボールを置いていたほんのちょっとの間に、気がつくと床と段ボールの間に白アリ発生。殺虫剤を滴るほど吹きかけましたが、築68年になる古家の床下は、一面の土壌です。シロアリには格好の住みか。結局、駆除業者の出番となった8月の終わり。次の月にはスズメバチが一番高い屋根の突合せ部分に、巣をかけているのが見つかります。ビーチボールよりはるかに大きく巨大化しています。高所作業車まで呼んでの駆除となり、これこそ、上へ下への大騒ぎとなりました。

スズメバチは5月ごろ巣をかけ始め、9月の終わりには山に飛び立っていくそうですが、これ程大きくなっているのに気がつかず、「十五夜の月」を愛でていた私。蜂駆除業者に言わせれば「外で良かった、屋根裏に作ることも多い」とのこと。屋根裏に潜むどろぼうの話の絵本「ふるやのもり」を思い出しました。

季節を感じ、季節に気を配る田舎暮らしのひと昔。まだ、まだ今年の会報に綴った猿地蔵の続きの暮しです。

会員の皆様とお顔合わせすることが難しい年月の中でも、会報を出すことができたことに感謝しております。

来年の夏の総会を開催することができますように、そして、お会いできますように念じております。



副会長 村島 京子
(福岡県社会保育短期大学11期)

命の尊さを学ぶ

コロナ禍の3年目、勢いは止まることなく、こども園もその波にのまれ、悪戦苦闘です。

全学年休園やクラスごとの部分休園、また職員38名中18名が順次感染するなど感染力の強さを感じざるを得ません。職員と力を合わせ、感染対策を強化し、保護者の方々のご理解ご協力のもと、現在、コロナと共存していかなくてはならない社会になって行くのではと痛感しています。

そんな中、初孫が5月に生まれました。母乳で日々成長していく孫の姿に命の神秘さを感じています。毎日体重が増し、身長も伸び、情緒や感覚など人として生きていくすべての基礎が日々育っていることを腕の中で感じています。

また、同時に我が家の愛犬(18歳5か月)の介護が始まりました。

自分で立って歩けなくなり、ご飯や排泄も自分で出来なくなりました。排泄は、孫のオムツにしっぽを

入れる穴をあけて使い、散歩はハーネスで後ろ足を支え、朝夕2回するなど。

出来ないことが増え、生きていく感覚が薄れていく老犬に、今まで、私たち家族を癒してくれた事に感謝の気持ちを込めて少しでも長く生きてくれることを願い、日々介護をしています。

このように生と死、隣り合わせの日々、仕事と慌ただしく送っている私に、何を教示されているのかと考えることがありました。

ふと目に留まった言葉 【有坐の器】

—私の地域の広報誌に記載されていた言葉です。—
孔子曰く

「満ちて覆(くつがえ)らないものはない」と
弟子たちに教えました。

弟子の子路(しろ)曰く

「満ちて覆らない方法はありませんか？」

孔子曰く

「ある」

「謙虚、譲ること。そのために損することだ」
すなわち、社会を良くすることに努めることを論じました。

今、私たちが住んでいる地球は、思いもよらぬ自然災害が起こり、コロナという得体の知れないウィルスに怯えさせられ、人が人の命を脅かす戦争が起こり、命の尊さなど考えられない社会になってきつつあります。

私たちが出来ること。

今おかれた環境に感謝し、関わる全ての子どもたちに命を大切に伝え、一人でも多くの人が【有坐の器】になれたらと思う次第です。



副会長 郡谷 忠士
(福岡県立大学社会福祉科1期)

人生100年時代

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍も解消されることなく、モヤモヤした日が続いています。

さて、わたくし事になります。令和4年4月から、保健担当部署に配属となりました。この部署は、社会福祉法人の監査や日本赤十字社の事業である献血などを推進する係、そして、各種保健事業を実施する保健センター、さらに、新型コロナウイルスワクチン接種対策室をかかえる部署でもあります。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は令和2年の末ごろから開始され、現在においては、5回目

の接種も視野に入れた準備が行われています。国内の感染状況では、現在までのところ、いわゆる第7波までであり、その波は繰り返されています。それに伴いワクチン接種も延長されてきましたが、世界中で感染が拡大する中、ウイルス変異も繰り返され、新たなワクチンとのイタチごっこになりつつあります。

日本国内ではマスク着用も当たり前のようになり、新型コロナ感染症ではない他の感染症の発症数がインフルエンザのように激減している状況もあり、まさに新たな生活様式への転換期となるかもしれません。※世界的に見るとマスクは外す方向にあるようですが。

話を戻しますが、先日、健康という大きなテーマの担当部署の職員ということもあり、肝炎医療コーディネーターの研修を受講しました。と言っても、数時間受講しただけですが、過去に急性肝炎になり黄疸が出て入院したこともあり、肝臓の大切さを身に染みて感じていたからです。

脂肪肝を放置すると、慢性肝炎、肝硬変、肝がん、のように進行することもありますし、肝臓の血液浄化作用なども低下するため、血管の異常や心臓疾患に繋がることもあります。わたしの場合、いわゆるナッシュ（非アルコール性の肝臓疾患）なので、飲酒もなく、お酒とは関係ありませんが、過度な飲酒も肝臓にダメージを与えます。

人生100年時代と言われるようになってきました。健康寿命の延伸は日々の運動と規則正しい食と睡眠にあると言われています。

そこで、多くの人に真剣になっていただきたいのが、ダイエットです。肥満は健康を妨げる大きな要因です。高コレステロールなどもそうですが、食べ過ぎることで生じる疾病は食べすぎないことで予防や改善ができるのです。かく言うわたしも、何度もダイエットに失敗してきましたが、肝炎医療コーディネーターという講習を受け、改心しました。この講習を受けたのは、実は勉強することによる頭の体操も兼ねています。勉強に集中できずグズグズしていたドイツ語検定も、昨年、なんとか3級に受かることができました。今は、家族が受けようとしている簿記検定試験に、勝手にライバル心を持ち、わたしも勉強を始めるところです。

ダイエットは8月初めごろから開始して、3kg減量できました。まだまだ、道半ばですが、自分のためですので、運動（里山登山やエアロバイク、筋トレ）も続け、頭の体操もしていきたいと考えています。仕事も忙しく、なかなか両立は困難ですが、自分のため、引いては周りの人も巻き込んで、多くの方が健康で人生が楽しめるように活動していきたいと考えています。

簡単な運動、勉強は、いつでもはじめることができます。皆さんも一緒にどうですか。

四役会議を開催しました

令和4年5月14日（土）午後2時から福岡県立大学内の同窓会事務室で四役会を開催しました。前回四役会（令和3年5月）以降の事務局の近況や事業について協議しました。会議の概要は次のとおりです。

主な経過（事業）

令和3年6月：幹事会書面決議書送付

令和3年7月：幹事会書面議決報告

令和3年11月13日～14日：秋興祭

外部参加不可（記録用として参加）

令和4年3月17日：卒業式（卒業生280名）

お祝いメッセージ・ボールペン（記念品）

花籠贈呈

会報（卒業号）発行

令和4年4月4日：入学式（入学生282名）

お祝いメッセージ・花籠贈呈

会報（入学号）発行

議題

1. 幹事会開催について

新型コロナの流行が増加しているので、今年度も書面開催に決定

2. 第30回総会について

新型コロナの社会的な動向にもよるが、次の開催予定でスケジュールと会場の下見等を実施する

- ・開催時期：令和5年（2023年）8月予定

- ・開催場所：八仙閣（福岡市博多区）

平成29年度（2017年）第27回総会開催場所と同じ



令和4年度幹事会を中止しました

新型コロナの流行拡大により令和4年度の幹事会を中止し書面開催を実施しました。

今年度の幹事会は事業報告が主な議題であり、議決事項はありません。四役会議で報告した主な経過を報告し、意見と近況報告をお願いしました。

事務局に送られてきた近況報告は次ページから掲載しています。

幹事の方々から寄せられた メッセージ・近況報告

令和4年6月末までに寄せられたメッセージです。

福岡県立保母養成所

12期 南野陽子

12期生の皆様、お元気でしょうか？

郡司嶋敏子さん 幹事をして頂きありがとうございます。田川郡内に住んでいますので次の幹事を引き受けましたが、コロナ禍の中、同窓会活動には出席出来ずにおります。年を取り身体は大変でしょうが、皆さんのお便りをお待ちしております。

13期 清水紘子

同期の人と会う時は、会費納入のお願いをしていたのですが、会う事が少なくなり残念です。少人数でも集まる機会を考えていきたいものです。

福岡県社会保育短期大学

保育科15期 秋元裕子

“迷える子羊（?!）”を長い間しておりましたが、6月より「子育てコーチング&企業」の講座をオンラインで学ぶことを決め、動き始めました。同時に「子育て支援グループ^{スマイル}”Smile”」を立ち上げ、F.B.ライブ配信子育て広場「よっといで」を始めました。初心者ライバーです🍀。まだまだ人に見ていただくには耐え難い(!)ですが、とにかく「四の五の言わずに始める」事だと、学び、走り始めたところです。残りの人生、必要な人に私の経験や強みを届けられたら・・・とっております。そして、1人でも多くの子どもの命を救えたら・・・と、っております。

福岡県立公衆衛生看護学校

18期 猿渡美智代

コロナ禍の中、同窓会事務局の皆様には種々御苦労いただいていますこと、感謝申しあげます。どうか、健康に留意されてお励み下さいませよう。大学院における保健師教育の一日も早い実現を切に願っています。



福岡県立看護専門学校

保健婦助産婦科1期 竹下節子

コロナ禍で外に出る事がなく、クラス会などで集まる事がなくなっています。早く、元の様に集まる事ができるようになってほしいと思います。年齢とともに、体力、気力共落ちてきています。皆さん元気でお過ごし下さい。

保健婦助産婦科2期 安河内節子

最近の関心ごと

ちょっと困苦しいことだけど、平和ボケしている日本人にとって大事なこと。日本とアメリカが中国の経済成長を支援した結果、経済成長した中国が、世界覇権を狙い、台湾・日本を侵略していること。ウクライナ・ロシア戦争とロシアの北方領土問題。大東亜戦争後GHQが日本に仕掛けた“二度とアメリカに向かってこない対日本戦略”。戦争で金儲けする国際金融資本家。今まで知らなかったことばかりですが、「日本人は、今のままでいいのかな〜。」と考えています。



保健婦助産婦科6期 江島恵美子

4月末から6月初めにかけて、イチゴ、梅、杏、らっきょうと、収穫、ジャム作り、酢漬、梅干、梅酒、杏酒・・・と天気をみながら多忙な日々を過ごしておりました。やっと一段落。おかげで、畑は草とクイモが我がもの顔にはびこり、家の中は雑然と来客時には、かくしたい程の・・・☹

最近、帯や着物で、バッグや服を作りたいと・・・うまくできないけど、いくつか出来上がり、「母のかたみの帯で作って!」という方によろこばれました。まだ、服は・・・ちょっとどころかだいぶん難しい。そのうち、ごひろうできたらと思っています。(だいそれたことに!)

看護師科11期 保健師科4期 小泉孝子

福岡県立看護専門学校、
看護師科11回生の皆様へ。

私、小泉孝子が、長い間11回生の幹事をいたしましたが、令和5年2月で80才になります。そして、緑内障で右目は失明しました。車の運転もできなくなり免許書返納しました。幹事をどなたか交代いただけますか。もしくは推薦願います。お願い申し上げます。

同期連絡 コーナー

福岡県保母養成所5期 合代敦子

同期の皆さん! コロナのなか、いかがお過ごしですか。
お会いしたいと思い乍ら・・・残念です。同期の梅本文子さんと是非、会合して、昔の学生時代の楽しかったことを話したいと2人で話しました。よろしく!



福岡県保母養成所13期 清水紘子

今年こそは、同期会を開催できればと思っています。どうぞ皆様御自愛ください。

「社保短8期社会福祉科のみなさまへ」

新型コロナ禍が続く中、みなさまお元気でお過ごしでしょうか?

昨年は新型コロナウイルスの影響で県立大学での第29回同窓会総会は中止となり、併せて田川市で計画していた社保短8期福祉科のクラス会も中止となりました。

第30回同窓会総会及び懇親会は、来年(2023年)8月に福岡市内で開催予定です。

次回同窓会総会に合わせて、福岡市内でクラス会を開催し、翌日の観光を県立大学中心に田川市近郊で計画しようかと考えてます。次回同窓会総会の日程が決まれば、併せてクラス会のお知らせをしますのでお待ちください。

来年こそ、みなさまにお会いできることを楽しみにしています。

今年は梅雨明けも早く、厳しい暑さが続きそうです。熱中症など気をつけてお過ごしください!

クラス会幹事: 松尾・芳賀・仲松

福岡県立看護専門学校

保健婦助産婦科6期 江島恵美子

6回生の皆様、おかわりありませんか?

まだ、クラス会の目処はたちませんが、グループラインを通して、近況報告、お知らせ、お誘い、等情報交換をいたしましょう!

まだ、グループラインに入っていない方々に、ぜひ、お知らせとご招待をよろしくお願いします。また、蛇足かもしれませんが、同窓会の会費納入についても、よろしくお願いします。

福岡県立看護専門学校

保健婦助産婦科7期 高橋孝子

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。今年度も同窓会幹事会は書面開催となりました。そのため、幹事は引き続きします。7回生の同窓会はまだ少し待っていてください。

福岡県立看護専門学校
看護婦科5期 小寺一恵

看護専門学校5期生の皆さんお元気でお過ごしでしょうか？

今年春、我が家に鎮座していたシャクナゲが見事に花開きました。

その花は前回（2019・4）の同期会、シャクナゲ園で買い求めたものでした。コロナウイルスの影響で同期会も中断していますが、近い内に開催されることを期待しています。

近況報告

令和4年9月末までに寄せられたメッセージです。

福岡県社会保育短期大学

社保短3期社会福祉科 肘井政厚

2010年から毎年海外旅行に行っていましたが、コロナ禍になってどこにも行かなくなり寂しい思いをしていました。海外旅行は、最初の海外旅行で知り合いになった私と同年代の夫婦といつも4人で海外ツアーに参加していました。これまでに中央ヨーロッパ、トルコ、アメリカ東海岸、シチリア島を含むイタリア南海岸、クロアチア、オランダ・ベルギー、イギリス、アルザス地方とグリーンデルワルトなどを旅行しましたが、コロナが世界的に流行し始めたころからは国内旅行もままならない状況になってしまいました。

今年になって、世の中が少し落ち着いてきたので、友人夫婦と国内旅行に出かけてみてはどうだろうと相談し、6月末に北海道旅行に出かけることを4月に決めました。3泊4日での日程で移動はレンタカーにしました。4人で相談し、福岡空港から新千歳空港に飛び、そこからレンタカーで観光することにしました。2日目は知床に行き観光船に乗ることにしていましたが、観光船の事故のニュースを知り観光船は見送りました。後で分かったことですが乗船する予定の観光船は事故にあった船でした。

一日目は、予定どおり福岡空港から新千歳空港に行き、そこでレンタカーを借りて阿寒湖近くのホテルまで高速道路を走りましたが、高速道路は1車線のところが多く、利用している車が少なく、そのためなのかもしれませんがサービスエリアがなくてトイレと自動販売機だけのパーキングエリアが所々にありました。北海道は普通の道路でも道路幅が広くて

まっすぐな道が多いので高速道路を使ってもそれほど時間短縮にはならないのかもしれませんが。宿泊したホテルは阿寒川の側にあつて、食事場所から野生の鹿が草を食んでいるところが見えました。



二日目は摩周湖、硫黄山、屈斜路湖から天に続く道を通ってウトロ港の漁協婦人部食堂でいくら丼などの昼食を取りました。

その後、知床五湖の高架木道では野生のクマに出会ってその迫力に驚きました。

この日は網走湖畔に泊まりましたが、知床からの途中で小清水原生花園に寄りました。原生花園からは知床連山が見え、またハマナスやエゾキスゲなどの花を見ることができました。



三日目は雨の中を石北峠を越え銀河の滝を見て旭川のラーメン村で昼食を取り、上野ファーム、四季彩の丘から青い池に行きました。朝からの雨は午後からは曇り空になりましたが、青い池は写真で見るときれいな青ではなく、霧も少しかかっていたので墨絵の世界のようでした。それはそれでいい思い出になりましたが、やはりインターネットの写真で見るとな明るい青い池を見たいものでした。

その後は高速道路を休憩もなく、一路、札幌に向かいました。

翌日の最終日は、何も予定を立てていませんでした。時間があれば、電車で小樽を観光して新千歳空港に行くことも考えましたが、荷物もあって前日までのレンタカーでの移動に疲れていたもので、ホテルの朝食後に大通公園や時計台といった有名な観光地をゆっくり巡りました。

早めに新千歳空港に行き、空港内の「北海道ラーメン道場」で昼食のラーメンを食べ、お土産を買いこんで福岡空港に戻りました。夕方に空港に着くと気温が高く、北海道の涼しさに少し慣れた体にはこたえました。

駆け足で訪れた北海道でしたが、旅行中に撮った写真や動画を整理して、音楽や字幕を入れて30分くらいの映像を作りました。後日、4人で集まって食事をしながらその映像を鑑賞して楽しい時間を過ごしました。



社保短8期社会福祉科 杉尾孝子

『コロナ禍の中で』

コロナ禍の2年半、みなさまは如何お過ごしでしたか？

私は66歳の今も、第二の職場の福岡市で年金相談員の仕事を続けています。目標は70歳まで勤務すること！

私の両親は兄夫婦と柳川市の自宅で過ごしてましたが、コロナ禍の2020年2月中旬に義姉が「くも膜下出血」で緊急入院してから一変！

母も父も最後は施設入所中に亡くなりました。母は2020年8月初旬に緊急入院から半日程、父は2021年8月下旬に緊急入院から3日程で亡くなり、二人共子どもたちにほとんど手をかけさせずに逝きました。また、二人共8月永眠のため初盆と一周忌の法要を同時にできて、最後までみんなの負担を軽くしてくれました。

コロナ禍で面会もままならず悔いは残りますが、夫婦揃って95歳まで自宅で過ごせたのは幸せだったと、兄夫婦に感謝し義姉には長生きしてほしいと願っています。

2021年6月下旬～8月下旬まで自宅マンションをリフォームしました。

マンション購入から25年経ち設備交換に加えて、リビングダイニングやキッチンの変更、東側の部屋の断熱+全ての窓に換気ができるDIウインドウを取り付け二重窓にしたことで、全ての部屋が一年中過ごしやすくなりました。

リフォームして良かったことは、何と言っても工事のための引っ越しに合わせて断捨離ができたことです。段ボールで山積みしていた単身赴任時の荷物、40年間の仕事で貯め込んだ資料、使わなくなった服や家具など大量に整理処分してスッキリしました。また、リフォーム会社のスタジオが姪浜駅改札口横にあり、昨年10月～毎月フラワーアレンジとパステルアートの教室に参加しています。フラワーアレンジは生花、プリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワー(造花)など材料は月毎に変わります。パステルアートはパステルを削った粉を塗り込み、型に合わせて消しゴムで消しては粉を塗り込みを繰り返して作り上げます。作成中は、絵を描くのが好きだった父をよく思い出します。フラワーアレンジもパステルアートも他のことを何も考えず、没頭する1～2時間がとても気持ち良く大好きです。

昨年は定年退職から5年経過した年でした。女性の2人に1人は90歳超えの時代、これからも5年スパンでいろいろやりたい事を始めようかな？と考えてます。ただし健康が大事！

みなさまも健康で長生きを目指して、年金もしっかり受け取りましょうね！

パステルアートの写真を添付します。

父にプレゼントした本の中の仙崖さんの水墨画の虎を手本にカラフルにした虎と、自宅から見える百道浜のクリスマス風景の絵です。



2022年7月近況報告

社保短8期社会福祉科 仲松奈緒子

ただいま、もと職場でアルバイトをしています。40年以上勤務した大学でしたが、退職してからは一度も訪れることなく、3年ぶりに足を向けると、それはそれは懐かしく、見慣れた校舎も学生さんもキラキラ輝いて見えました。こんなにもテンションがあがった自分に嬉しさいっぱい胸いっぱいです。知った顔に遇うと自分のことはさておき、「老けたなあ～」と心の中でつぶやき、自分のマスク顔は（マスクのせいだけではないのですが）なかなか認識されず、あちらこちらへ立ち寄っては、「半年間の期間限定でお世話になります。」と説明し、久しぶりに口の周りの筋肉を使う日々を送っております。

退職してからは、

1年目

楽しくハローワーク通い、 毎日が休日で
ゆっくり自由な生活

2年目

初めましてのバイオリン、再度チャレンジ
フラワーアレンジメント等の習い事もコロナで
中止

3年目

コロナ禍でスーパー以外に行けるところがなく
ウズウズ

そして現在に至ります。

短大時代、アルバイトと言え、かの「大月堂」さんには、大変お世話になりました。夏はアイスクリーム、冬はクリスマスケーキ作りに、店員さんとしてお店に立った事も・・・そんな伊田商店街をみんなと一緒に歩ける日が、また、同窓会が普通に開催できる日が早く来ますように願っております。

2022年8月近況報告

社保短8期社会福祉科 芳賀（森永）郁子

何をすればいいのか？と迷っていた定年退職から7年目！

私なりに社会参加を続けています。家事が苦手の言い訳に、外に目が向いているのでしょう。

地域のおはなし会は、コロナの影響で小学校の朝読がなくなりまだ再開できていませんが、図書館を中心に徐々にですが季節の催しが実施されてきました。毎回新しい体験があり、楽しく参加しています。子育て終了してからですが、長年活動を紡いできたみんなから学ぶことは多いです。健康や介護等、共通の課題を話して励まされることもありがたいです。

この4月から、スクールサポートスタッフ（退職した特別支援学校で）のお仕事も、週3回に増えました。介護費用負担もあるので、収入がふえるのはうれしいことです。

職業病なのか腰痛がでるし、内科も定期的に通院しています。友人に勧められ、民間の温熱療法テルミーを学んでいます。単純に気持ちがいいし、家族にも好評です。身体のこと、気を付けることが大切ですね。

人との交流が制限された時期がこんなに続くななんて思いませんでした。幸いにも市民劇場の活動を通して同級生と会う機会も確保できました。もうすぐ50年の付き合いになりますね。いつも助けられてきました。

将来について考えると落ち込むこともあるし、悩みもいっぱいです。社会貢献なんておこがましいですが、自分流の社会参加をして、充実した毎日を送ることが大切だと考えているこの頃です。



社保短23期保育科 小林 由美子

『娘の里帰り出産』

今年4月10日 里帰り出産の為、奄美大島に住む娘が福岡に帰省 予定日は6月6日

妊娠32週目にしてはお腹が大きく、その日の夜に肥満の主人とツーショットで爆笑写真撮影。

一人娘の帰省で喜ぶ主人とは違い、プレッシャーを感じていた私。妊婦のための食事(料理苦手~😓)や出産準備、病院への送迎、産後のフォローと楽しみではあるものの、無事にその日を迎えられるのか緊張の毎日。私も里帰り出産したけど、母もそんな気持ちだったのかなとふとよぎった。5月下旬、妊娠性掻痒性じんま疹様丘疹を発症し、全身の痒みの為に寝不足気味の娘ではあったが、赤ちゃんには影響ないとのことで一安心。予定日が近づきみんながそ

わそわする中、6月6日はさらっと過ぎ、ついに計画入院。

6月13日、沢山の荷物を抱えて病棟へとあがり、娘を看護師さんへ託したところで私の緊張も緩和された気がした。誰も立ち会うことが出来ない中で、生まれたという知らせはどのようにくるのだろうと。思っていたら、入院4日目の夕方、「帝王切開になりそうなので、病院の方へお越し下さい。」と連絡が。病棟へあがると、陣痛促進剤から解放された娘は、疲れてはいるもののもうすぐ我が子に会える嬉しさでいつもの笑顔を見せていた。赤ちゃんを取り出すのに一時間、娘の処置に一時間強とのことで、退院まで会えないと思っていた赤ちゃんにも会わせてもらえることになった。「お母さんのスマホの画像悪いから、これで撮って！」と娘のスマホを渡され、車椅子で手術室に向かう娘を見送った。

約一時間後、娘と全く同じ体重の元気な女の子(初孫)と対面。「わたし出てきちゃった！」とばかりに目をキョロキョロさせてこっちを見てくれた。41週もお腹にいただけあって顔も体もしっかりしていた。それから更に一時間後、ベッドに横たわったままの娘と対面。主治医や助産師さんと談笑しながら病棟へあがり、今後の流れを聞いて帰路についた。お産ばかりは本人と病院に託すしかないが、少しでも近くにいられた私は安堵感と充実感でいっぱいだった。帰宅すると、祝杯を挙げていた主人がほろ酔いで待っていた。初孫の誕生というよりも娘が無事に子どもを産んだことに感動している様子で、どこまでも父親だった。一番そばにいたくて、私よりも先に赤ちゃんとお面するはずだった娘婿は、すぐに航空券の手配と育児休暇(7日間)の申請をし、退院のお迎え、母乳以外の育児をすべてこなし、令和のパパは素晴らしいと感心した。暑い



暑い夏、「お母さん、料理の腕が上がったね～」と褒められる程、母乳のための栄養ある食事に気を使いながら2ヶ月を過ごし、両家そろってお宮参りを済ませ、お盆休暇終了とともに親子三人で奄美大島へ帰っていった。娘夫婦からはお礼の手紙をもらい、最後は涙涙だったが、緊張感、使命感、安堵感、達成感、幸福感を味わった4か月半だった。あれから2か月が過ぎ、合わせて100歳の夫婦二人の生活は静かではあるが、可愛い孫の写真や動画が、時々勃発する些細な喧嘩の火種を消してくれていることに間違いはない。



訃 報

(会報33号発行以降の連絡分)

追悼：謹んでお悔やみ申し上げます。

福岡県立保健婦養成所1期

中山綾子 令和3年9月18日 逝去

福岡県社会保育短期大学 社会福祉科9期

岡島喜美子 令和4年1月4日 逝去

(敬称略)

同窓会活動への寄付者一覧

(敬称略)

下記の方々より同窓会活動への寄付が寄せられています。お名前を掲載するとともに、お礼申し上げます。寄せられました寄付金はこれからの同窓会活動に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

2021年10月1日～2022年9月30日現在

17名 55,500円

福岡県立保母養成所

5期

高橋和子

5期

大坪由枝

12期

多久島広子

14期

一ノ瀬紀美子

福岡県社会保育短期大学

社会福祉科8期

森 智子

社会福祉科11期

匿名希望

社会福祉科11期

丸林葉子

社会福祉科12期

山岡 寿

保育科13期

向井妙子

社会福祉科18期

出雲由香

保育科20期

島野明子

福岡県立保健婦養成所

8期

伊藤多喜子

福岡県立看護専門学校

保健婦科4期

一木真澄

助産婦科9期

江崎浩子

福岡県立大学

社会福祉学科1期

矢野英子

社会福祉学科7期

金子真響

社会福祉学科13期

奥村安德

2022年10月1日以降は次号に掲載します



第30回 総会について

とき：2023年8月予定

ところ：八仙閣（福岡市博多区）予定

当番期：福岡県立保母養成所7・8期

福岡県社会保育短期大学11・12期

福岡県立大学

人間社会学部3・14・15・24・25期

看護学部4・5・14・15期

福岡県立保健婦養成所9期

福岡県立公衆衛生看護学校19期

福岡県立看護専門学校：保助9期

看護9・19・29期、保健9・19期

助産17・18期

※詳細は次回総会案内(2023年7月発行予定)にてお知らせいたします。

※新型コロナウイルスの感染状況がどのように落ち着き、また大勢での会食の可否の判断が示された内容によって開催方法を決定したいと思います。

第28回同窓会総会の様子です



第28回講演会の様子です



第28回懇親会の様子です

★同窓会事務局より★

○同窓会会員の慶弔に際し、同窓会より電報を送信しています。慶弔事項をFAXまたはE-mailで同窓会事務局にご連絡ください。各期幹事に慶弔事項の問い合わせをしていますが、追加慶弔事項がありましたら事務局までお知らせください。また旧教職員（旧県看職員を含む）も特別会員として電報送信をしています。

○近況報告、同期会開催予告、同期会報告を事務局までお寄せください。同期で声をかけ合って集まり、卒業しても支えあい、繋がりを紡いでいく同期会の積み重ねこそが同窓会活動に広がりを与え、深みをみせていくことになるでしょう。

○同窓会ホームページに新着情報を掲載しています。

これからも大学祭や入学式、卒業式また四季折々の出来事を掲載していきますので、ぜひご活用ください。

登録お願いします



同窓会のLINE



同窓会のTwitter



同窓会の
メールアドレス



同窓会の
ホームページ



秋興祭PR

第31回福岡県立大学秋興祭実行委員会

委員長 原壮一郎

今年度、福岡県立大学秋興祭もおかげさまで、11月12日、13日の開催により第31回を迎えることとなりました。

今年度の秋興祭のテーマは、「**colors** ～輝かせる自分だけの色～」です。このテーマには、今年度もコロナウイルスの影響が考えられる中、秋興祭というイベントが、秋興祭が普段からお世話になっております、地域の皆様方、ご来場くださるお客様、本大学の学生、そして我々実行委員、一人ひとりにとって、笑顔で輝ける場になればという思いが込められています。また、この場での人と人との繋がりから、それぞれ一人ひとりがもつ色が合わさり、色を増していくことで、秋興祭を通して、この先の未来を明るく照らしてほしいという願いも込めてこのようなテーマにしました。

秋興祭に関わってくださるすべての皆様のご支援・ご協力に感謝し、今年度も無事に開催できるよう、実行委員一丸となり秋興祭が不成功に終わるよう努力していく所存です。来年度以降も秋興祭実行委員全員で精進していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



令和2年度、令和3年度の 県立大学卒業生の皆様へ 同窓会年会費納入のお願い

平素より同窓会運営に関しまして、ご支援、ご協力を賜わりありがとうございます。現在同窓会は、年々の卒業生を迎えて会員数は14,200名となっています。会報の毎年発行を中心に会員名簿の整理、大学事業への参加や助成等を行っています。同窓会活動は会員皆様からの年会費と入学者の入会金で支えられています。令和2年度（2020年度）、令和3年度（2021年度）県立大学卒業生の方に年会費納入の振込用紙を同封しております。同窓会会員の絆を結び、つながりの輪を広げる同窓会活動、同窓会事業展開のため、年会費納入をよろしくお願いいたします。

同窓会への寄付金の金額は寄付者の自由意志にお任せします。いつでも思いついた時に寄付ができるようにし、回数、金額は寄付者の自由意志にお任せします。

※寄付者名を会報に掲載いたします。匿名またはペンネーム希望の方は、その旨明記ください。



★使用済み切手、書き損じはがきを！

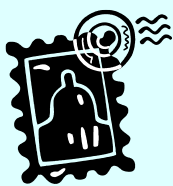
いつも使用済み切手、書き損じはがきを同窓会事務局へお寄せいただき本当にありがとうございます。寄せられた使用済み切手や書き損じはがきは、

★盲老人ホーム聖明園

★FM福岡モーニングジャム

に送らせていただいております。

これからも長く続けていきたいと思っておりますので、皆様のご協力よろしくお願いいたします。



ご意見とご要望への対応

現在、会報編集は会員の皆様よりいただいた原稿を事務局で編集し、四役または幹事会で会報発行の承認を経て、データを印刷業者で印刷し事務局で発送しています。寄稿者の氏名、卒業期は、名簿と原稿を擦りあわせて校正を繰り返し行っております。気づかれました誤植、訂正箇所などがありましたら事務局までご一報くださいますよう、よろしくお願いいたします。

また、いただいたご要望、ご意見にはなるべく迅速に同窓会事務局で対応いたしますが、会報の訂正につきましては次号での訂正となりますことをご了承ください。

要望の中には、案件として、四役会や幹事会で検討する場合があります。

今後も同窓会活動へのご意見、ご要望をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

会報34号は年会費納入者と令和2年度、令和3年度の県立大学卒業生に発送しております。

宛先不明で返送される場合がありますので、同窓会事務局への住所登録にご協力いただきますよう、同期の方へお声かけください。よろしくお願いいたします。

福岡県立大学同窓会

〒825-8790

福岡県田川市伊田4395

福岡県立大学内 3号館1階 3108

福岡県立大学同窓会事務局

（開局日は毎週金曜日10時～17時）

Tel&Fax : 0947-42-2777

E-mail:office@fpu-alumni.org

URL:http://fpu-alumni.org

